

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：公衆衛生費 目：食品衛生指導費

事業名 HACCPシステム妥当性検証事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 生活衛生課 食品指導係 電話番号：058-272-1111(内3422)

E-mail : c11222@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 2,109 千円 (前年度予算額： 2,392 千円)

<財源内訳>

| 区分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|---------|---------|-----------|-------|-------|-------|-----|-------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使 用 料 手数料 | 財 産 入 | 寄 附 金 | そ の 他 | 県 債 | 一 般 源 |
| 前年度 | 2,392 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,392 |
| 要求額 | 2,109 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,109 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

平成30年6月13日に公布された食品衛生法等を改正する法律（平成30年法律第46号。以下「改正法」という）において、すべてのと畜場及び大規模食鳥処理場においてHACCPに基づく衛生管理が求められることになった。

改正法の施行(令和2年6月1日)に伴い、と畜場法施行規則及び食鳥処理法施行規則において、県はと畜事業者等のHACCPに基づく衛生管理の実施状況等について検証を行うこと必要になった。

(2) 事業内容

と畜場（牛・豚）及び大規模食鳥処理場におけるHACCPによる管理状況の検証を目的として、現場検査（毎日）、記録検査（月1回以上）、微生物検査（月1回以上）実施する。また、カンピロバクター属菌の定量試験を年4回実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

と畜検査及び食鳥検査並びに施設の監視指導は、と畜場法及び食鳥処理法に基づき、県が実施する業務であり、県負担が妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|---------|
| 旅費 | 407 | 業務旅費 |
| 需用費 | 1,685 | 検査用消耗品費 |
| 役務費 | 17 | 検体輸送費 |
| 合計 | 2,109 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県食品衛生監視指導計画において適正なと畜検査、食鳥検査の実施やと畜場及び食鳥処理場の監視指導を行うこととしている。

(2) 国・他県の状況

法令で義務付けられた検査であり、全国のと畜場及び食鳥処理場を所管する自治体で実施予定。

(3) 後年度の財政負担

有

(4) 事業主体及びその妥当性

と畜場法及び食鳥処理法に基づく許認可は知事に権限があり、岐阜県は事業主体として妥当である。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

| |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

と畜場（牛・豚）及び大規模食鳥処理場におけるHACCPによる管理状況の検証を目的としたHACCPの妥当性を検証するための枝肉、食鳥肉を対象とした微生物検査を実施する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

| 指標名 | 事業開始前 (R1) | R6年度 実績 | R7年度 目標 | R8年度 目標 | 終期目標 (R8) | 達成率 |
|--------|---------------|------------|------------|------------|---------------|--------|
| ①検査実施数 | 0 | 180 | 200 | 200 | 200 | 112.5% |

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

| | |
|-------------------|--|
| 令和 4 年 度 | 施設の衛生管理状況を科学的に評価することで、と畜・食鳥事業者等のHACCPシステムの適正な運用を確認し、食肉の安全性を確保することができた。 |
| | 指標① 目標：160 実績： 160 達成率： 100% |
| 令和 5 年 度 | 施設の衛生管理状況を科学的に評価することで、と畜・食鳥事業者等のHACCPシステムの適正な運用を確認し、食肉の安全性を確保することができた。 |
| | 指標① 目標：160 実績： 180 達成率： 112.5% |
| 令和 6 年 度 | 施設の衛生管理状況を科学的に評価することで、と畜・食鳥事業者等のHACCPシステムの適正な運用を確認し、食肉の安全性を確保することができた。 |
| | 指標① 目標：160 実績： 180 達成率： 112.5% |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

| | |
|---|-------------------------------------|
| (評価) 3 | 法令に基づく検査のため必要 |
| ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) | |
| 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 2 | H A C C Pによる管理状況を把握し、指導に役立てることができた。 |
| ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) | |
| 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている | |
| (評価) 1 | 法令に基づく検査のために必要 |

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
継続してと畜場及び大規模食鳥処理上のH A C C P管理状況の把握を行うことが必要

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|----------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 | 【○○課】 |
| 組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など | |